

専念寺通信

12月号 (NO.160) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

ことしも、早いもので、一年の最後の月、師走がやってきました。専念寺のいちょうの樹は東京のほかのいちょうと違い、毎年、黄色くなるのが遅いのですが、今年はひときわゆっくりとしており、師走に入ってもまだ青い葉を残しつつ、盛大に舞い落ちています。墓地のケヤキもまだ風に舞っています。12月とはいえ、晩秋の風情の専念寺です。皆さま、大過なくおすごしでいらっしゃいますか。

☆お塔婆とは

法事の折りに、皆さまは亡くなった方のためにお塔婆をたてます。正式名称は**卒塔婆**（そとば）です。サンスクリット語の**ストゥーパ**に文字を当てました。これを略して塔婆、という言い方になりました。立方形の石塔を板にしたもので、その上部を五輪の形に切り込んだものをいいます。お塔婆のおもてに書いてある5つの梵字があります。上から順に、**キャ、カ、ラ、ヴァ、ア**、と読み、その意味は順に、**空（くう）、風、火、水、地**、です。梵字の形を『通信』で再現できませんが、お墓まいりなどの際に実物をご覧いただければと思います。

☆お焼香は何回するのか

香を焚くことには、仏の前でみずからを浄めるという意味がこめられています。もともと、「身」「口」「意」の三つの業（ごう）を浄めるために三回、行なわれてきましたが、毎回の法要のおりなどには、それらの意味をすべて含めて、心をこめて一回行なうのが良いとされています。お焼香は、純粹さに一歩近づくための尊

い行ないです。

☆浄土宗の総本山

浄土宗の総本山は、京都の**知恩院**です。その他に七大本山として、**増上寺**（東京都港区）、**金戒光明寺**（京都市左京区）、**知恩寺**（京都市左京区）、**清浄華院**（京都市上京区）、**善導寺**（福岡県久留米市）。**光明寺**（神奈川県鎌倉市）、**善光寺**（長野県元善町）、があります。

☆除夜の鐘

一年の最後の日、各地の寺院から除夜の鐘が響き始めます。その数は108回である

ことは、皆さますでにご存じのことと思います。人間の煩惱が108あるのだとされ、一年の最後の日にそれを取り除くために鐘をつく、と言われていました。さて、その数については諸説があります。私たちの持っている六種類の感覚器官を「**六識**（ろくしき）」といいます。これを、順に、**目識、耳識、鼻識、舌識、身識、意識**、とよび、それぞれ、色、声、味、触、法、に対応しています。これらそれぞれについて、好、悪、平、の三つの区別、そして、三受と呼ばれる、苦、楽、捨、を掛け合わせ、三十六煩惱と数えます。さらにこの三十六煩惱が、過去、現在、未来の三世にわたっているため、これらすべてを掛け合わせると百八つの煩惱になる、という考えです。心と身体の悩みから、ひとつ、またひとつ、と解き放たれていくことを願い、一年を終え、新しい年を迎えたいものです。

☆平和

この『通信』を通じて、専念寺は常に「平和」をよびかけて来ました。これからもあきらめずに発信しつづけてゆきます。皆さま、お身体を大切にどうぞ良いお年をお迎えください。

平成25年12月1日 大黒

